

「出雲市環境レポート（令和 5 年度 (2023) のまとめ）」について

1 出雲市環境レポートについて

出雲市環境レポートは、出雲市の環境の状況等を明らかにするとともに、市民の環境への関心を高め、情報の共有を図ることを目的に、市の環境に係る計画の目標達成状況や施策の進捗状況の点検・評価の結果をレポートとしてまとめ、毎年度発行しているものです。

今年度のレポートは、令和 4 年度に策定した「出雲市環境総合計画（R5～R12）」と「いずもエコオフィス・アクションプログラムⅣ（R5～R12）」の初年度の点検・評価となります。

2 出雲市環境総合計画の点検・評価

評価・区分	令和 5 年度
目標値に達した(◎)	5 項目(14%)
目標値に達していないが、基準年度値より良くなった(○)	11 項目(32%)
基準年度値より良いが、前年度値より悪くなった または基準年度値と変わらなかった(△)	4 項目(11%)
基準年度値より悪くなった(×)	12 項目(34%)
評価対象外(令和 9 年度の間見直しの際アンケートにより把握)(一)	3 項目(9%)
合 計	35 項目(100%)

<項目別達成状況>

No.	施策の柱	目標設定項目	現状値 (基準年度)	実績値 (令和4年度)	実績値 (令和5年度)	短期目標値 (令和12年度)	令和5年度 評価
1	1-1 温暖化	省エネルギー機器導入などの対策を実施している事業者の割合	17% (令和4年度)	—	—	40%	—
2		新築・改築時におけるZEBの導入割合	0.42% (令和2年度)	0.40% (令和3年度)	0.70% (令和4年度)	15%	○
3		新築・改築時におけるZEHの導入割合	16% (令和2年度)	—	17.4% (令和4年度)	31%	○
4		デコ活(COOL CHOICE)の実施割合 (家庭)	66.3% (令和4年度)	—	—	80%	—
5		デコ活(COOL CHOICE)の実施割合 (事業者)	51.0% (令和4年度)	—	—	70%	—
6		いずも緑結び電力㈱エネルギーの地産地消率	60% (令和3年7月) ※設立時目標	73%	72%	73%	△
7		いずも緑結び電力㈱排出係数	0.281 kg-CO ₂ /kwh (令和3年度)	—	0.286 kg-CO ₂ /kwh (令和4年度)	0.095 kg-CO ₂ /kwh	×
8		新車販売台数における次世代自動車の販売台数の割合	39.2% (令和元年度)	44.4% (令和3年度)	49.0% (令和4年度)	70%	○
9		CO ₂ 吸収量	156 千t-CO ₂ (令和3年度)	156 千t-CO ₂	152.9 千t-CO ₂	156 千t-CO ₂	×
10		森林整備面積	149ha (令和3年度)	81.4ha	66.1ha	200ha	×
11		間伐等実施面積	116ha (令和3年度)	56.3ha	45.5ha	160ha	×

No.	施策の柱	目標設定項目	現状値 (基準年度)	実績値 (令和4年度)	実績値 (令和5年度)	短期目標値 (令和12年度)	令和5年度 評価
12	1-1 温暖化	市産材取扱量	12,729㎡ (令和3年度)	14,867㎡	14,279㎡	15,500㎡	○
13		新規林業就業者数(累計)	2人 (令和3年度)	4人	7人	29人	○
No.	施策の柱	目標設定項目	基準年度値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	実績値 (令和5年度)	中間目標値 (令和8年度)	令和5年度 評価
14	2-1 3R	ごみ排出量 (一人一日当たりごみ排出量)	58.209t (915g/人・日)	57.847t (915g/人・日)	57,351t (909g/人・日)	56,751t (901g/人・日)	○
15		ごみ最終処分量 (最終処分率)	9,243t (15.9%)	9,395t (16.1%)	8,817t (15.4%)	8,942t (15.8%)	◎
16	3-1 森里 川海	里山林・森林保全活動団体数	8団体	9団体	11団体	10団体	◎
17		有害鳥獣の農林産物に係る被害額	4,500千円	3,300千円	3,700千円	3,100千円	△
18		環境保全型農業直接支払交付金取組面積	250ha	280ha	276ha	300ha	△
19		学校給食における地元産食材の使用割合(金額ベース)	72.7%	72.1%	69.2%	77%	×
20		市内河川水質の環境基準等達成率(BOD)	100%	100%	97.0%	100%	×
21		央道湖のCOD75%値(環境基準3.0mg/ℓ)	5.5mg/ℓ	4.4mg/ℓ	5.7mg/ℓ	4.6mg/ℓ	×
22		神西湖のCOD75%値(環境基準5.0mg/ℓ)	6.0mg/ℓ	5.5mg/ℓ	7.3mg/ℓ	5.6mg/ℓ	×
23		污水处理人口普及率	89.5%	89.8%	90.2%	93.3%	○
24		水洗化率(接続率)	91.5%	91.7%	91.9%	92.5%	○
25		海岸等一斉清掃参加者数	9,204人	6,226人	9,821人	12,000人	○
26	3-2 生物多 様性	ホテルの生息が確認された地区の割合(生息地区数)	70% (30地区)	63% (27地区)	65% (28地区)	80% (35地区)	×
27		市主催の自然体験事業の参加者数	6,661人	8,202人	10,627人	14,000人	○
28		グリーンツーリズムの受入団体数	6団体	7団体	6団体	8団体	△
29	4-1 健康	大気汚染測定値(SPM) (環境基準:0.10mg/㎡以下)	0.012mg/㎡ (令和2年度)	0.014mg/㎡ (令和3年度)	0.014mg/㎡ (令和4年度)	0.10mg/㎡ 以下	◎
30		自動車騒音の環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	◎
31	4-2 快適	市全体の市民美化活動参加者数	30,815人	31,302人	29,133人	35,000人	×
32		美化サポートクラブ登録団体数	39団体	40団体	38団体	50団体	×
33	5-1 学習・保 全活動	環境学習施設の利用者数	46,299人	55,680人	57,597人	53,000人	◎
34		省エネ講師、ごみ減量化アドバイザー等の派遣回数	54回	27回	26回	70回	×
35	5-2 情報	環境総合ウェブサイト「出雲エコなび」の閲覧件数	152,715件	146,897件	165,876件	200,000件	○

＜目標達成度の評価＞

○ 地球温暖化防止の分野（施策の柱 1-1）

- ・ いずれも縁結び電力（株）排出係数（No.7）については、数値はほぼ横ばいであった。
- ・ 森林の CO₂吸収量、森林整備・間伐等実施面積（No.9、10、11）については、基準年度値を下回った。要因としては、CO₂吸収量については森林の高齢化などが考えられ、森林整備・間伐等実施面積については民間の主伐・間伐が進まなかったため。市公有林について、現在策定中の「いずれの森ブルースカイ・グリーン計画」に基づき主伐・間伐を推進するとともに、私有林については、森林環境譲与税を活用し林業事業体へ積極的に支援を行い、間伐等の森林整備を推進していく。

○ 廃棄物に関する分野（施策の柱 2-1）

- ・ ごみの排出量は全体的に減少傾向となっている。ごみ排出量、最終処分量（No.14、15）とも前年度より減少し、最終処分量については目標値を達成した。

○ 自然環境の分野（施策の柱 3-1、3-2）

- ・ 学校給食における地元産食材の使用割合（No.19）については、地元農産物の入荷量が不足し、一部県外産を使用したこと等により基準年度値をやや下回った。
- ・ 市内河川水質（No.20）については、概ね環境基準を達成したものの一部基準を満たさない箇所があった。河川管理者と連携し水質改善に向け啓発等を実施していく。
- ・ 宍道湖及び神西湖の水質（No.21、22）は、いずれも環境基準の達成とはなっていない。神西湖については、春先に測定値が少し高かった時期の影響で前年度より高くなった。それぞれの湖について、宍道湖・中海湖沼水質保全計画に基づいた対策、また、神西湖水環境保全指針の見直しを含めた総合的な対策を進めていく。
- ・ ホタルの生息が確認された地区の割合（No.26）については、基準年度値を下回ったが地区数は前年度から1地区増加した。

○ 生活・快適環境の分野（施策の柱 4-1、4-2）

- ・ 生活に身近な大気汚染測定値や自動車騒音（No.29、30）については環境基準を達成した。
- ・ 市民美化活動参加者数や美化サポートクラブ登録団体数（No.31、32）については近年数値が横ばいの状況であり、広報等による取組の強化が必要である。

○ 環境学習、情報発信等の啓発の分野（施策の柱 5-1、5-2）

- ・ 環境学習施設の利用者数（No.33）についてはコロナ禍を脱し目標値を達成した。
- ・ 省エネ講師、ごみ減量化アドバイザー等の派遣回数（No.34）については基準年度比、前年度比とも減となっており、更なる周知に努め派遣回数が増となるように取り組む必要がある。

3 二酸化炭素（CO₂）排出量削減の目標と達成状況

国が公表している最新の自治体排出量カルテによると、令和3年度の本市のCO₂排出量は、1,357千t-CO₂で、出雲市環境総合計画の基準年度（平成25年度）のCO₂排出量1,607千t-CO₂に比べ、▲15.6%（250千t-CO₂）となりました。

■CO₂排出量削減の目標

	年度	削減目標	
		出雲市	国
計画期間	R5～R12	—	—
基準年度	H25	—	—
短期目標	R12	46%	46%
中期目標	R22	65%	—
長期目標	R32	カーボンニュートラル	カーボンニュートラル

(1) 目標の達成状況（令和3年度）

$$100 - \frac{\text{令和3年度排出量}}{\text{基準年度（平成25年度）排出量}} \times 100 = 100 - \frac{1,357 \text{ 千 t-CO}_2}{1,607 \text{ 千 t-CO}_2} \times 100 = 15.6\% \text{削減}$$

(2) CO₂排出量の部門別・分野別構成比

年度		平成25年		令和2年		令和3年	
部門		H25 排出量 (千 t-CO ₂)	構成比	R2 排出量 (千 t-CO ₂)	構成比	R3 排出量 (千 t-CO ₂)	構成比
産業部門		522	33%	511	36%	496	36%
	製造業	466		413		406	
	建設業・鉱業	21		16		17	
	農林水産業	35		82		72	
業務その他部門		398	25%	324	23%	294	22%
家庭部門		308	19%	259	18%	243	18%
運輸部門		361	22%	304	21%	302	22%
	自動車	346		292		291	
	旅客	192		158		154	
	貨物	154		134		136	
	鉄道	14		11		10	
	船舶	1		1		1	
廃棄物分野(一般廃棄物)		19	1%	21	2%	23	2%
合計		1,607	100%	1,419	100%	1,357	100%

※端数処理により合計等と一致しない場合があります。 出典：環境省「自治体排出量カルテ」からの推計値

4 いずもエコオフィス・アクションプログラムⅣの点検・評価

市が行う事務事業については、令和1・2年度までを計画期間として策定している「いずもエコオフィス・アクションプログラムⅣ」によりエネルギー消費の低減を図ることとしています。

(1) 市の事務及び事業から発生する二酸化炭素（CO₂）排出量の削減

CO₂の排出量は高圧受電施設の電力調達先をCO₂排出係数の低い「いずも縁結び電力㈱」に切り替えたことで、総排出量を大幅に削減することができ目標値を達成しました。

また、エネルギー使用量では、都市ガスについては空調設備の使用が増加したことにより使用量増となった一方、電気や灯油等の種類においては前年度比減または同程度となりました。

その他項目では、コピー用紙・封筒の使用量はペーパーレス化の浸透もあり減少しており、水使用量についても減少し目標を達成しました。

ア 数値目標の達成状況

※達成状況評価手法はP1と同じ

	目標設定項目（単位）	基準年度値 (H25年度)	実績値 (R4年度)	実績値 (R5年度)	最終目標値 (R12年度)	R5 評価
1	CO ₂ 排出量（t-CO ₂ ）	53,824	18,426	17,694	18,838	◎
2	削減率	—	▲66%	▲67%	▲65%	

イ エネルギー使用量の内訳

（エネルギー）

	目標設定項目（単位）	基準年度値 (H25年度)	実績値 (R4年度)	実績値 (R5年度)	最終目標値 (R12年度)	R5 評価
1	電 気（千kWh）	56,440	52,840	51,722	47,974	○
2	灯 油（kℓ）	3,551	1,339	1,263	1,243	○
3	A重油（kℓ）	390	125	123	117	○
4	LPG（t）	284	252	244	227	○
5	都市ガス（千m ³ ）	100	108	119	95	×
6	ガソリン（kℓ）	269	203	204	215	◎
7	軽 油（kℓ）	215	194	196	194	△

※全ての市有施設を対象範囲としています。

（その他項目）

	目標設定項目（単位）	基準年度値 (R3年度) ※水(R元年度)	実績値 (R4年度)	実績値 (R5年度)	最終目標値 (R12年度)	R5 評価
1	ごみ排出量（kg）	25,273	24,561	23,519	22,746	○
2	コピー用紙使用量（kg）	77,591	76,225	59,833	38,796	○
3	封筒使用量（枚）	648,157	682,226	586,287	583,341	○
4	水使用量（m ³ ）	177,453	143,184	141,083	159,708	◎

※市職員が配置されている施設及び小中学校を対象範囲としています。

(2) 「市職員のマイカー通勤自粛」の取組

職員の率先行動として、毎月第3水曜日を含む週を「エコ通勤ウィーク」として徒歩や自転車、公共交通機関利用等によるノーマイカー通勤を呼び掛けており、エコ通勤のひと月あたりの実施日数、CO₂削減量とも年々実績値が上昇しています。

	目標設定項目（単位）	基準年度値 (R3年度)	実績値 (R4年度)	実績値 (R5年度)	最終目標値 (R12年度)	R5 評価
1	CO ₂ 削減量（kg-CO ₂ ）	134,600	151,868	161,270	200,000	○